

2023（令和5）年度

事業報告書及び財務諸表

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日



公益財団法人 神戸ファッション協会

◆ 目 次 ◆

◇2023（令和5）年度 事業報告書

I 総括的概要	1
II 組 織	2
1. 会員	
2. 役員	
3. 企画委員会	
4. 事務局	
III 会議開催状況	4
1. 理事会	
2. 評議員会	
IV 事業実施状況	5
1. ファッション関連事業の実施	
(1) 都市ブランドの強化	
(2) 販路開拓・消費拡大	
2. 企業・人材の交流・育成	
3. 情報の収集・発信	
4. 後援・協力	

◇2023（令和5）年度 決算報告書

正味財産増減計算書	13
正味財産増減計算書内訳表	14
貸借対照表	16
貸借対照表内訳表	18
財務諸表に対する注記	20
財産目録	25
監査報告書	26

◇2023（令和5）年度 事業報告書

I 総括的概要

2023（令和5）年度においては、当協会の設立目的である「神戸を中心とする兵庫県下の生活文化産業の振興」を図るべく、都市ブランド強化、販路開拓・消費拡大を中心とした諸事業に取り組むとともに、会員をはじめとする地元の企業や人材の交流事業、情報収集・発信事業などを実施しました。

はじめに都市ブランド強化に資する事業として、1973年の「ファッション都市宣言」から50周年の記念すべき年であったことから、10月から11月にかけて記念事業を開催しました。

「2023 洋菓子フェスタ in Kobe」では、工芸菓子の展示やケーキコンテスト、大型飴細工の実技コンテスト「神戸洋菓子職人道」に加え、神戸マイスターや洋菓子の国際大会での優勝者と国内トップクラスのパティシエによるパフォーマンス、ケーキ教室、ケーキ講習会等を開催しました。

また、1月には「みんなのガレット博覧会～2024 神戸ガレット・デ・ロワ～」を神戸阪急で開催し、コンテスト開催による人材育成の他、大型ガレット・デ・ロワやクーロンヌ・デ・ロワの展示、多彩なガレットの販売等を通じて、「洋菓子のまち・神戸」「パンのまち・神戸」をPRしました。

さらに、神戸タータン協議会の「神戸タータン」を使用した都市イメージ向上の活動を継続的に支援するとともに、神戸市内新小学一年生に対して、文具セットを贈呈しました。

この他、「真珠の街・神戸」の認知度向上を図るため、「真珠のアクセサリーづくり教室」を初めて開催し、真珠の街・神戸について理解を深めて頂きました。

販路開拓・消費拡大に資する事業として、地場産業や伝統的工芸等、兵庫県内の生活文化産業の振興と活性化・連携を図るため、「国際フロンティア産業メッセ 2023」会場内に「ひょうごじばさんフェア 2023」として出展した他、大手流通業とのタイアップによる催事を開催しました。

また、2025年の大阪・関西万博を視野に入れ、兵庫県内5国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）の産業や技術に着目し、次代を担うクリエイターや職人の技を通じて兵庫県のモノづくりの素晴らしさを世界に向けて発信する「ひょうご国～HYOGO産を世界に発信するPROJECT～」を昨年に引き続き大丸神戸店等で開催した他、世界的に圧倒的な知名度を誇る「神戸ビーフ」の副産物である「神戸レザー」の素材開発や商品開発など、地元産業・製品の認知度向上や販路開拓、SDGsへの取り組みを支援しました。

さらに、灘の酒と神戸・兵庫の食を紹介する「ENJOY!! NADA SAKE KANPAI FES. in KIITO」をデザイン・クリエイティブセンター神戸で初めて開催した他、神戸発のキッズアパレルブランドとのタイアップ企画としてファッションショーを実施し、神戸発キッズブランドの認知度向上とファッション都市・神戸の街のPRに取り組みました。

この他、次代を担う若手経営者等を対象とした勉強会「ブランド研究会」を開催しました。

会員への情報提供としては、ホームページをはじめ、フェイスブックやインスタグラム等のSNSを活用して事業やイベント情報の発信を行いました。

2024年3月31日現在の当協会の基本財産は、558,425,749円です。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

本年度の会員の異動および本年度末の会員数は、次のとおりです。

会員種別	2023年3月31日	入会数	退会数	2024年3月31日
企業会員	67		1	66
団体会員	29	1		30
個人会員	9			9
特別会員	2			2
計	107	1	1	107

2. 役 員 (敬称略・順不同、2024年3月31日現在)

[顧問]

齋藤元彦 兵庫県知事
久元喜造 神戸市長
川崎博也 神戸商工会議所 会頭

[会長]

小田俱義 (株)イズム 代表取締役社長

[副会長]

大月京一 (株)大月真珠 代表取締役社長
山口信二 モロゾフ(株) 代表取締役社長
白樫政孝 剣菱酒造(株) 代表取締役社長
高瀬英夫 (公財)北播磨地場産業開発機構 理事長

[専務理事]

関口幸明 神戸商工会議所 常務理事・事務局長

[理事]

伊藤剛 (株)神戸ポートピアホテル 取締役総支配人
仙田正之 (株)アシックス 秘書部長
高村晃司 UCCジャパン(株) 執行役員総務本部本部長
塚本浩康 六甲バター(株) 代表取締役社長兼CEO
畑崎充義 (株)ワールド 取締役
吉井康太郎 (株)ロック・フィールド 取締役経営企画本部長
小林拓哉 兵庫県 産業労働部次長兼国際局長
大畑公平 神戸市 経済観光局長

[監事]

楡井義丈 (株)みなと銀行 地域戦略部長
後藤真一 神戸商工会議所 理事・産業部長

〔評議員〕

阿 辻 覚	(株)神戸商工貿易センター 神戸ファッションマート総務部長
市 川 茂	兵庫トヨタ自動車(株) 参与
植 木 砂 織	(学)育成学園 理事長
岡 崎 忠 彦	(株)ファミリア 代表取締役社長
小 野 博 志	(一社)神戸貿易協会 常務理事
小 野 行 由	(株)F・O・ホールディングス 代表取締役社長
小 山 剛	(株)大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店営業推進部長
高 田 恵太郎	(株)ぜんまい 会長
寺 島 浩 美	フジッコ(株) 取締役上席執行役員
天 満 正 人	住友ゴム工業(株) スポーツ事業本部事業推進部主幹
東 芳 宏	(一社)兵庫県洋菓子協会 事務局長
見 寺 貞 子	神戸芸術工科大学 芸術工学部ファッションデザイン学科教授
山 中 勸	(株)伍魚福 代表取締役社長
渡 邊 百 合	(株)マキシシ 代表取締役

3. 企画委員会 (敬称略・順不同、2024年3月31日現在)

大 月 康 史	(株)大月真珠 取締役
岡 崎 忠 彦	(株)ファミリア 代表取締役社長
桑 田 隆 晴	(株)グリップインターナショナル 代表取締役会長兼社長
白 樫 政 孝	剣菱酒造(株) 代表取締役社長
高 田 恵太郎	(株)ぜんまい 会長
沼 部 美由紀	(株)クロシェホールディングス 代表取締役
星 加 ルリコ	(株)RURIKO PLANNING 代表取締役社長
山 口 信 二	モロゾフ(株) 代表取締役社長
三 宅 堂 之	兵庫県 産業労働部地域産業立地課長
八 木 美 咲	神戸市 経済観光局ファッション産業課長
西 田 由 実	神戸商工会議所 産業部産業・国際チーム担当課長

4. 事務局 (2024年3月31日現在)

藤 本 晋 一	事務局長
池 上 隆 司	部長
藤 井 寿 子	
中 谷 茜	

〔所在地〕 神戸市中央区港島中町6丁目1番地 神戸商工会議所会館6階
TEL : 078-303-3123 FAX : 078-303-3122

Ⅲ 会議開催状況

1. 理事会

(1) 第1回理事会（通算第97回）※ 決議の省略

開催日 4月17日

出席者 12名（理事総数12名）

議案 令和5年度第1回（通算第72回）評議員会（決議の省略）の開催について

(2) 第2回理事会（通算第98回）※ 決議の省略

開催日 5月1日

出席者 14名（理事総数14名）

議案 業務執行理事・専務理事の選定について

(3) 第3回理事会（通算第99回）

開催日 6月12日

場所 神戸ポートピアホテル

出席者 10名（会場出席9名、Web会議Zoomシステム出席1名／理事総数14名）

議案 2022（令和4）年度事業報告の承認に関する件
2022（令和4）年度決算報告の承認に関する件
評議員会の招集に関する件

(4) 第4回理事会（通算第100回）※ 決議の省略

開催日 11月17日

出席者 13名（理事総数13名）

議案 令和5年度第3回（通算第74回）評議員会（決議の省略）の開催について

(5) 第5回理事会（通算第101回）※ 決議の省略

開催日 12月11日

出席者 14名（理事総数14名）

議案 副会長の選定について

(6) 第6回理事会（通算第102回）※ 決議の省略

開催日 2024年1月19日

出席者 13名（理事総数13名）

議案 令和5年度第4回（通算第75回）評議員会（決議の省略）の開催について

(7) 第7回理事会（通算第103回）

開催日 2024年3月1日

出席者 11名（会場出席11名／理事総数14名）

議案 2024（令和6）年度事業計画の承認について
2024（令和6）年度収支予算の承認について
令和5年度第5回（通算第76回）評議員会（決議の省略）の開催について

報告 2023（令和5）年度事業の進捗状況について

2. 評議員会

(1) 第1回評議員会（通算第72回）※ 決議の省略

開催日 4月21日
出席者 14名（評議員総数14名）
議案 理事の選任について
監事の選任について

(2) 第2回評議員会（通算第73回）

開催日 6月28日
場 所 神戸ポートピアホテル
出席者 9名（会場出席7名、Web会議Zoomシステム出席2名／評議員総数14名）
議案 2022（令和4）年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認に関する件

(3) 第3回評議員会（通算第74回）※ 決議の省略

開催日 11月28日
出席者 14名（評議員総数14名）
議案 理事の選任について

(4) 第4回評議員会（通算第75回）※ 決議の省略

開催日 2024年1月29日
出席者 14名（評議員総数14名）
議案 理事の選任について

(5) 第5回評議員会（通算第76回）※ 決議の省略

開催日 2024年3月12日
出席者 13名（評議員総数13名）
議案 評議員の選任について

IV 事業実施状況

1. ファッション関連事業の実施

(1) 都市ブランドの強化

① ファッション都市宣言50周年記念事業

『KOBE TO THE WORLD～神戸らしく。新しい神戸に。～』をテーマに11月23日にデザイン・クリエイティブセンター神戸においてファッション都市宣言50周年記念事業を開催しました。

「ファッション」や「ライフスタイル」を楽しむ30代から60代の「大人の女性」をメインターゲットにドレスコード（「真珠」or「Something White」）を設けて、スペシャルステージイベント、ファッションショー、LIVE、ブース展示等の様々なコンテンツでファッション都市宣言50周年のイベントを盛り上げました。

なお、当日はオリックスバファローズ、阪神タイガースの優勝パレードと重なり、大規模な交通規制が行われた中で開催しました。



Fashion City Declaration
50th Anniversary



開催日 11月23日
会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)
来場者 450名

② 「洋菓子のまち・神戸」の発信

〔(一社)兵庫県洋菓子協会、神戸市、神戸商工会議所との共催〕

ア. 「2023 洋菓子フェスタ in Kobe」

「2023 洋菓子フェスタ in Kobe」を4月26日から5月8日までの13日間、大丸神戸店において『神戸ジャズ100周年』をテーマに開催しました。

神戸・兵庫県内のパティシエによる「工芸菓子の展示」や「デコレーションケーキコンテスト」をはじめ、4人の神戸マイスターによるパフォーマンスや、洋菓子の国際大会優勝者と国内でトップクラスのパティシエ2名によるパフォーマンス、大型飴細工の実技コンテスト「神戸洋菓子職人道」、さらに有名パティシエによるケーキ教室やケーキ講習会などを開催し、広く一般消費者に「洋菓子のまち・神戸」を訴求しました。



開催日 4月26日～5月8日 (13日間)
会場 大丸神戸店
来場者 約30,000名



イ. 「みんなのガレット博覧会～2024 神戸ガレット・デ・ロワ～」の開催

「みんなのガレット博覧会～2024 神戸ガレット・デ・ロワ～」を2024年1月12日から15日までの4日間、神戸阪急において開催しました。

若手パティシエ・ブーランジェの育成を目的とした「神戸ガレット・デ・ロワ コンテスト」の開催の他、大型ガレット・デ・ロワや大型クーロンヌ・デ・ロワの展示、「ガレット・デ・ロワ」や「クーロンヌ・デ・ロワ」のホール及びカット販売、ガレット・デ・ロワづくり体験、フェーブの販売、お買い上げ抽選会等を開催し、広く一般消費者に「洋菓子のまち・神戸」「パンのまち・神戸」を訴求しました。

この他、「ガレット・デ・ロワ」の認知度向上と買い回り促進を図るため、スマートフォンを活用した「デジタルスタンプラリー」を参加店の販売期間に合わせて実施しました。

<みんなのガレット博覧会～2024 神戸ガレット・デ・ロワ～>

開催日 2024年1月12日～15日 (4日間)
会場 神戸阪急
来場者 約20,000名



<2024 神戸ガレット・デ・ロワ～デジタルスタンプラリー～>

開催日 12月27日～2024年1月31日
会場 34店・スポット (9ブランド)
来場者 総閲覧者数 1,682名 総参加者数 447名
総スタンプ数 656個 特典応募者数 181名



③ 「神戸タータン」を活用した都市魅力の推進

「神戸タータン」を使用した商品の開発・販売を通じて神戸の都市イメージの向上、関連産業の振興を図るため、神戸タータン協議会の活動を支援しました。

常設売場は、神戸ロフト、新神戸駅アントレマルシェの市内2店舗、その他にオンラインショップを展開しました。

今年度も神戸タータンオリジナル文具セットを神戸タータン協議会、神戸市とともに神戸市立新小学校一年生約12,000名に対して贈呈しました。

贈呈式は全校を代表して、神戸市立上筒井小学校（神戸市中央区）において開催しました。
同協議会への加入数…132 事業所・団体、アイテム数…366（2024年3月31日現在）



④ 新・真珠ブランド構築の推進（パールシティ神戸協議会、神戸市との共催）

真珠の街・神戸の体感プログラムとして、「真珠のアクセサリづくり教室」を11月24日にデザイン・クリエイティブセンター神戸において開催しました。

当日は、神戸が「真珠の街」と言われる背景について説明を受けた後、あこや貝剥き体験、真珠穴あけ体験、ワイヤーによるペンダント制作に取り組んで頂きました。※ファッション都市宣言50周年記念事業に位置付けて実施



開催日 11月24日
会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)
参加者 19名（午前10名、午後9名）



(2) 販路開拓・消費拡大

① ひょうごのじばさん魅力発信キャンペーン事業

2025年の大阪・関西万博を視野に入れ、兵庫県内5国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）の産業や技術に着目し、次代を担うクリエイターや職人の技を通じて兵庫県のモノ作りの素晴らしさを世界に向けて発信する「ひょうご国～HYOGO産を世界に発信するPROJECT～」に取り組みました。



産地間連携によるタイアップ商品の開発に取り組み、大丸神戸店、大丸札幌店、日本最大のファッション展示会「FaW TOKYO（ファッションワールド東京）」で試作品を展示した他、産地間連携を促すためのラウンドテーブルを計4回実施しました。

<百貨店への出展>

開催日 8月11日～8月13日（3日間）

会場 大丸札幌店

開催日 9月6日～9月19日（2週間）

会場 大丸神戸店

開催日 9月20日～9月26日（1週間）

会場 大丸札幌店



<展示会への出展>

展示会名 FaW TOKYO (ファッションワールド東京)
開催日 10月10日～10月12日 (3日間)
会場 東京ビッグサイト



<ラウンドテーブル>

開催日 8月18日～12月5日 計4回
会場 神戸酒心館他



② 地場産業SDGs推進事業

世界的に圧倒的な知名度を誇る「神戸ビーフ」の副産物である「神戸レザー」を使用し、県内のタンナーと有害物質と環境負荷の低減を目的とした素材開発に取り組み、有害な化学物質を含んでいないことを証明する皮革製品の安全認証「エコテックス®レザースタンダード」を11月30日付で認証取得しました。



また、「神戸レザー」のコンセプトを理解した国内外の著名デザイナーを起用した商品開発を実施し、Hall.hausによる「SakuraLight」とKawasaki初の電動EVバイクは「メゾン・エ・オブジェ・パリ」に出展しました。



③ 地場産業総合振興事業

県内地場製品のPRや販路開拓、産地間連携の促進を目的に、次の事業を実施しました。

ア. ひょうごじばさんフェア2023

「SDGsへの取り組み」をテーマに、県内地場産業の振興と活性化を目的に、「ひょうごじばさんフェア2023」を「国際フロンティア産業メッセ2023」の会場内に開設し、県内地場産業の団体・企業が異業種との交流やビジネスチャンスの拡大を目指しました。

開催日 9月7日～8日 (2日間)

会場 神戸国際展示場1号館2階

「国際フロンティア産業メッセ2023」会場内

出展者 12団体・企業 (12小間)

- ・日本ケミカルシューズ工業組合
- ・兵庫県靴工業組合
- ・兵庫県線香協同組合
- ・(公財)北播磨地場産業開発機構・播州織工業協同組合
- ・播州算盤工芸品協同組合
- ・姫高皮革事業協同組合
- ・(公財)神戸ファッション協会
- ・(一社)日本燐寸工業会
- ・兵庫県靴下工業組合
- ・淡路瓦工業組合
- ・(株)三木章刃物本舗
- ・日本真珠輸出組合

来場者 約13,600名 (2日間合計)



イ. 夏休みじばさんフェア

県内の自治体と観光事業者、JRグループ6社や旅行会社が一体となって行う大型観光キャンペーン「兵庫デスティネーションキャンペーン兵庫テロワール旅」に参画している神戸ポートピアホテルの関連イベントとして「ポートピアホテル夏休みじばさんフェア」を初め

て開催しました。

体験型のワークショップや商品販売を通して県内の地場産業の認知度向上に努めました。



開催日 8月12日～13日(2日間)

会場 神戸ポートピアホテル

出展者 11団体・企業

- ・UNITE STORE
- ・播州算盤工芸品協同組合
- ・(公財)北播磨地場産業開発機構
- 橋本裕司織布、大化産業(株)、桑村繊維(株)、播州織工業協同組合
- ・伝統工芸 丹波布
- ・(一社)日本燐寸工業会
- ・兵庫県線香協同組合
- ・兵庫県鞆工業組合

来場者 約500名(2日間合計)

ウ. 大手流通業とのタイアップによる地場産品の販売促進

ビジネスマッチングの円滑化を目的に、大手流通企業との連携のもと、当協会が商談の窓口となり、大型量販店の催事企画等に合わせた産地企業のビジネスチャンスを創出し、販路開拓・拡大の支援を行いました。

◇ イトーヨーカドー甲子園店

実施日 7月13日～8月26日

出店者 (株)有馬せんべい本舗 (お中元帰省ギフト企画/展示販売)

実施日 12月12日～2024年1月8日

出店者 (株)有馬せんべい本舗 (お歳暮帰省ギフト企画/展示販売)

④ 灘の酒と食振興事業(神戸市、神戸商工会議所との共催)

神戸・兵庫の伝統的地場産業であり、日本一の酒どころである灘五郷の「灘の酒」と神戸・兵庫の食を紹介する「ENJOY!! NADA SAKE KANPAI FES. in KIITO」を10月28日にデザイン・クリエイティブセンター神戸において開催しました。※ファッション都市宣言50周年記念事業に位置付けて実施



開催日 10月28日

会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

出店企業 灘五郷・兵庫の日本酒等の提供 29ブース
神戸・兵庫の食の提供 11ブース 計40ブース

来場者 2,500名



⑤ 神戸の食文化発信事業(神戸市、神戸商工会議所との共催)

神戸の持つ多彩な食文化を伝え、神戸から新たな「食」のライフスタイルを提案することで、神戸・兵庫に暮らす人々の生活文化を豊かにする事業として神戸の食文化発信事業を開催しました。

神戸港の開港以来、神戸の食文化に大きな影響を与えたのが「洋食」であることから、

「これからの洋食」をテーマに、フォーラムや特別食事を開催した他、「食の賢人が選んだ神戸洋食 10 選」としてホームページ上に神戸の特色のある洋食店を紹介しました。

※ファッション都市宣言 50 周年記念事業に位置付けて実施



<「これからの洋食」フォーラム>

開催日 10月28日

会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

来場者 56名

<神戸の洋食店：新旧での特別食会>

開催日 11月22日・27日

会場 洋食パリス・グリルー平新開地本店

来場者 20名・25名

<食の賢人が選んだ神戸洋食10選>

URL : https://kfo.or.jp/youshoku_culture/event.html#kenjinselect

⑥ 神戸ファッション振興事業（神戸市、神戸商工会議所との共催）

神戸発のキッズアパレルブランド「ALGY」と「ZIDDY」とタイアップしたファッションショーを11月25日にデザイン・クリエイティブセンター神戸において開催しました。

当日は、一般応募から選考されたモデル16名が、各ブランドのコーディネートによる洋服を着てランウェイを歩くとともに、SNS等でその様子を発信し、神戸発キッズブランドの認知度向上を図りました。

この他、ファッションショーには、KIITO「こどもの洋裁教室」の参加者や「078 KOBE」ファッション部門が企画した「KOBE DESIGNER'S COLLECTION」などと連携してステージイベントを盛り上げるとともに、ブース展示も行い、地場産業に関連したワークショップを同時開催しました。

※ファッション都市宣言 50 周年記念事業に位置付けて実施



参加企業 (株)F・O・インターナショナル (ALGY)
(株)べべ (ZIDDY) 計2社 (2ブランド)

<神戸発キッズブランドファッションショー>

開催日 11月25日

参加者 キッズモデル16名 (ALGY 9名、ZIDDY 7名)

会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

来場者 1,000名

備考 KIITO「こどもの洋裁教室」、

078KOBE 実行委員会 Fashion 部門「KOBE DESIGNER'S COLLECTION」と連携



2. 企業・人材の交流・育成

① 講演会・セミナー・会員交流会等の開催

ア. ブランド研究会

ファッション都市・神戸に相応しいブランドのあり方を研究することを目的に生活文化産業の次代を担う若手経営者・経営幹部を対象とした勉強会を開催しました（会員制）。

今年度は、「オーセンティック・ブランディングの重要性を考える」をテーマに、ケースやディスカッションを通じて、ブランディングの重要性について学びました。

コーディネーター

芸術文化観光専門職大学 教授

関西学院大学 名誉教授 佐藤 善信 氏

開催日 5月26日～2024年3月15日 計6回

会員数 18名（2024年3月31日現在）



② 各種コンテストの開催

「衣・食・住・遊」等の生活文化産業に携わる時代を担う人材の育成・交流を図るため、「2023 洋菓子フェスタ in Kobe」の中でデコレーションケーキコンテスト、神戸洋菓子職人道を実施しました。

また、「みんなのガレット博覧会～2024 神戸ガレット・デ・ロワ～」の中で、「2024 神戸ガレット・デ・ロワ コンテスト」を開催しました。

<第17回デコレーションケーキコンテスト>

開催日 4月29日

会場 大丸神戸店



<神戸洋菓子職人道>

開催日 5月4日

会場 大丸神戸店

<2024 神戸ガレット・デ・ロワ コンテスト>

開催日 2024年1月12日

会場 神戸阪急



3. 情報の収集・発信

① Web、SNS等を活用した情報発信

当協会が主催する各種主催事業の情報の他、共催事業や後援事業、行政からの情報を当協会の公式Webサイトに加え、SNS（Facebook、Instagram）を活用し、広く発信しました。

Homepage <https://www.kfo.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kfo.or.jp/>

Instagram <https://www.instagram.com/kobefashionorganization/>

4. 後援・協力

(1) 後援

No.	開催日	事業名	主催者
1	4/1/～5/26	第8回全国高校生ウエディングドレスデザイン画コンクール	(学)福富学園 神戸ファッション専門学校
2	4/1～/6/23	第26回全国高校生デザイン画コンクール	(学)福富学園 神戸ファッション専門学校
3	6/4	第53回くつつ子まつり	日本ケミカルシューズ工業組合
4	7/1～10/31	ファッションシューズコンテスト 2024	日本ケミカルシューズ工業組合
5	7/15	神戸ファッション専門学校 作品発表会「KFI MOVE 2023」	(学)福富学園 神戸ファッション専門学校
6	9/1～ 2024/2/3	2024 ファッションフェア ファッションデザインコンテスト	(学)福富学園 神戸ファッション専門学校
7	9/23～24	三宮コレクション 2023 A/W	三宮コレクション実行委員会
8	11/3～4	アート・クラフトフェスティバル in たんば 2023	アート・クラフトフェスティバル in たんば実行委員会
9	11/22～23	播州織フェア 2023	(公財)北播磨地場産業開発機構
10	12/3	第54回くつつ子まつり	日本ケミカルシューズ工業組合
11	2024/3/23 ～24	三宮コレクション 2024 S/S	三宮コレクション実行委員会

(2) 協力

No.	開催日	事業名	主催者
1	10/21, 11/12, 23, 25	KOBE DESIGNER'S COLLECTION	078KOBE 実行委員会 Fashion 部門

正味財産増減計算書

2023年4月1日 から 2024年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,290,000	7,359,599	△ 1,069,599
基本財産受取利息	6,290,000	7,359,599	△ 1,069,599
受取賛助会費	10,100,000	10,150,000	△ 50,000
事業収益	2,041,838	1,431,297	610,541
協賛金等収益	7,001,009	6,252,064	748,945
補助金等収益	23,118,386	24,864,878	△ 1,746,492
補助金収益	23,118,386	24,864,878	△ 1,746,492
受取負担金	16,789,111	13,565,392	3,223,719
雑収益	9,049	8,110	939
経常収益計	65,349,393	63,631,340	1,718,053
(2) 経常費用			
事業費	62,291,957	53,895,906	8,396,051
管理費	9,401,431	9,114,956	286,475
経常費用計	71,693,388	63,010,862	8,682,526
当期経常増減額	△ 6,343,995	620,478	△ 6,964,473
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券償還益	0	1,500,000	△ 1,500,000
経常外収益計	0	1,500,000	△ 1,500,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,500,000	△ 1,500,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,343,995	2,120,478	△ 8,464,473
一般正味財産期首残高	68,363,830	66,243,352	2,120,478
一般正味財産期末残高	62,019,835	68,363,830	△ 6,343,995
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 3,028,000	△ 33,278,000	30,250,000
投資有価証券評価損益等	△ 3,028,000	△ 33,278,000	30,250,000
当期指定正味財産増減額	△ 3,028,000	△ 33,278,000	30,250,000
指定正味財産期首残高	561,453,749	594,731,749	△ 33,278,000
指定正味財産期末残高	558,425,749	561,453,749	△ 3,028,000
III 正味財産期末残高	620,445,584	629,817,579	△ 9,371,995

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日 から 2024年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	6,290,000	0	0	0	6,290,000
基本財産受取利息	6,290,000	0	0	0	6,290,000
受取賛助会費	0	0	10,100,000	0	10,100,000
受取賛助会費（企業）	0	0	7,300,000	0	7,300,000
受取賛助会費（団体）	0	0	2,500,000	0	2,500,000
受取賛助会費（個人）	0	0	300,000	0	300,000
事業収益	660,800	1,381,038	0	0	2,041,838
灘の酒と食事業収益	606,800	0	0	0	606,800
パール事業収益	54,000	0	0	0	54,000
ブランド研究会事業収益	0	631,000	0	0	631,000
その他事業収益（他）	0	750,038	0	0	750,038
協賛金収益	7,001,009	0	0	0	7,001,009
補助金等収益	23,118,386	0	0	0	23,118,386
補助金収益	23,118,386	0	0	0	23,118,386
受取負担金	16,789,111	0	0	0	16,789,111
雑収益	0	7,000	2,049	0	9,049
受取利息	0	0	2,049	0	2,049
雑益	0	7,000	0	0	7,000
経常収益計	53,859,306	1,388,038	10,102,049	0	65,349,393
(2) 経常費用					
事業費	61,585,994	705,963	0	0	62,291,957
給料手当	5,292,986	0	0	0	5,292,986
臨時雇賃金	482,920	0	0	0	482,920
福利厚生費	862,513	0	0	0	862,513
会議費	280,156	8,648	0	0	288,804
旅費交通費	693,588	0	0	0	693,588
通信運搬費	479,184	2,748	0	0	481,932
消耗品費	3,103,610	165,958	0	0	3,269,568
印刷製本費	408,120	0	0	0	408,120
賃借料	6,170,187	75,350	0	0	6,245,537
保険料	30,600	0	0	0	30,600
諸謝金	1,019,838	150,000	0	0	1,169,838
租税公課	105,200	0	0	0	105,200
負担金	500,000	0	0	0	500,000
委託費	41,827,257	303,259	0	0	42,130,516
雑費	329,835	0	0	0	329,835

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
管理費	0	0	9,401,431	0	9,401,431
給料手当	0	0	2,729,092	0	2,729,092
退職給付	0	0	246,507	0	246,507
福利厚生費	0	0	707,637	0	707,637
会議費	0	0	52,457	0	52,457
旅費交通費	0	0	20,950	0	20,950
通信運搬費	0	0	125,435	0	125,435
消耗品費	0	0	531,894	0	531,894
印刷製本費	0	0	169,400	0	169,400
事務所費	0	0	2,134,440	0	2,134,440
賃借料	0	0	490,171	0	490,171
諸謝金	0	0	865,000	0	865,000
租税公課	0	0	76,600	0	76,600
諸会費	0	0	606,000	0	606,000
委託費	0	0	351,892	0	351,892
雑費	0	0	44,100	0	44,100
減価償却費	0	0	249,856	0	249,856
経常費用計	61,585,994	705,963	9,401,431	0	71,693,388
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,726,688	682,075	700,618	0	△ 6,343,995
当期経常増減額	△ 7,726,688	682,075	700,618	0	△ 6,343,995
2. 経常外増減の部					
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,726,688	682,075	700,618	0	△ 6,343,995
一般正味財産期首残高	△ 74,552,433	△ 7,751,460	150,667,723	0	68,363,830
一般正味財産期末残高	△ 82,279,121	△ 7,069,385	151,368,341	0	62,019,835
II 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 3,028,000	0	0	0	△ 3,028,000
投資有価証券評価損益等	△ 3,028,000	0	0	0	△ 3,028,000
当期指定正味財産増減額	△ 3,028,000	0	0	0	△ 3,028,000
指定正味財産期首残高	561,453,749	0	0	0	561,453,749
指定正味財産期末残高	558,425,749	0	0	0	558,425,749
III 正味財産期末残高	476,146,628	△ 7,069,385	151,368,341	0	620,445,584

貸借対照表

2024年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	196,762	284,193	△ 87,431
普通預金			
三井住友銀行①	26,922,652	38,615,550	△ 11,692,898
三井住友銀行②	7,623,556	1,663,420	5,960,136
みなと銀行	737,336	88,181	649,155
普通預金合計	35,283,544	40,367,151	△ 5,083,607
未収金	680,000	950,000	△ 270,000
前払金	355,740	355,740	0
流動資産合計	36,516,046	41,957,084	△ 5,441,038
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金			
三井住友銀行	10,000,000	10,000,000	0
定期預金合計	10,000,000	10,000,000	0
投資有価証券			
投資有価証券（指定）	511,837,000	414,865,000	96,972,000
投資有価証券合計	511,837,000	414,865,000	96,972,000
普通預金			
三井住友銀行	36,588,749	136,588,749	△ 100,000,000
普通預金合計	36,588,749	136,588,749	△ 100,000,000
基本財産合計	558,425,749	561,453,749	△ 3,028,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 特定資産			
特定積立財産			
定期預金			
みなと銀行	40,000,000	40,000,000	0
定期預金合計	40,000,000	40,000,000	0
特別積立財産合計	40,000,000	40,000,000	0
特定資産合計	40,000,000	40,000,000	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1,199,744	246,240	953,504
電話加入権	374,920	374,920	0
保証金	80,000	80,000	0
その他固定資産合計	1,654,664	701,160	953,504
固定資産合計	600,080,413	602,154,909	△ 2,074,496
資産合計	636,596,459	644,111,993	△ 7,515,534
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,585,458	3,666,719	△ 81,261
預り金	159,421	99,103	60,318
仮受金	1,390,461	702,220	688,241
流動負債合計	5,135,340	4,468,042	667,298
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,072,879	9,826,372	246,507
長期未払金	942,656	0	942,656
固定負債合計	11,015,535	9,826,372	1,189,163
負債合計	16,150,875	14,294,414	1,856,461
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	558,425,749	561,453,749	△ 3,028,000
寄附金	558,425,749	561,453,749	△ 3,028,000
(うち基本財産への充当額)	(558,425,749)	(561,453,749)	(△ 3,028,000)
2. 一般正味財産	62,019,835	68,363,830	△ 6,343,995
(うち特定財産への充当額)	(40,000,000)	(40,000,000)	(0)
正味財産合計	620,445,584	629,817,579	△ 9,371,995
負債及び正味財産合計	636,596,459	644,111,993	△ 7,515,534

貸借対照表内訳表

2024年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	全 体
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	0	0	196,762	0	196,762
普通預金					
三井住友銀行①	0	0	26,922,652	0	26,922,652
三井住友銀行②	0	0	7,623,556	0	7,623,556
みなと銀行	0	0	737,336	0	737,336
普通預金合計	0	0	35,283,544	0	35,283,544
未収金	230,000	450,000	0	0	680,000
前払金	0	0	355,740	0	355,740
流動資産合計	230,000	450,000	35,836,046	0	36,516,046
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金					
三井住友銀行	10,000,000	0	0	0	10,000,000
定期預金合計	10,000,000	0	0	0	10,000,000
投資有価証券					
投資有価証券（指定）	511,837,000	0	0	0	511,837,000
投資有価証券合計	511,837,000	0	0	0	511,837,000
普通預金					
三井住友銀行	36,588,749	0	0	0	36,588,749
普通預金合計	36,588,749	0	0	0	36,588,749
基本財産合計	558,425,749	0	0	0	558,425,749

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	全 体
(2) 特定資産					
特定積立財産					
定期預金					
みなと銀行	0	0	40,000,000	0	40,000,000
定期預金合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
特別積立財産合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
特定資産合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
(3) その他固定資産					
什器備品	0	0	1,199,744	0	1,199,744
電話加入権	0	0	374,920	0	374,920
保証金	0	0	80,000	0	80,000
その他固定資産合計	0	0	1,654,664	0	1,654,664
固定資産合計	558,425,749	0	41,654,664	0	600,080,413
資産合計	558,655,749	450,000	77,490,710	0	636,596,459
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	2,260,133	3,574	1,321,751	0	3,585,458
預り金	0	0	159,421	0	159,421
仮受金	0	1,390,461	0	0	1,390,461
流動負債合計	2,260,133	1,394,035	1,481,172	0	5,135,340
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	10,072,879	0	10,072,879
長期未払金	0	0	942,656	0	942,656
固定負債合計	0	0	11,015,535	0	11,015,535
負債合計	2,260,133	1,394,035	12,496,707	0	16,150,875
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	558,425,749	0	0	0	558,425,749
寄附金	558,425,749	0	0	0	558,425,749
(うち基本財産への充当額)	(558,425,749)	(0)	(0)	(0)	(558,425,749)
2. 一般正味財産	△ 82,279,121	△ 7,069,385	151,368,341	0	62,019,835
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(40,000,000)	(0)	(40,000,000)
正味財産合計	476,146,628	△ 7,069,385	151,368,341	0	620,445,584
負債及び正味財産合計	478,406,761	△ 5,675,350	163,865,048	0	636,596,459

財務諸表に対する注記

2023年度

1. 継続組織の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの… 期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの… 移動平均法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

什器備品については、定額法によっております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっており、什器備品に含めております。

ただし、リース料総額が僅少なものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金…………… 債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見積額を計上しております。

退職給付引当金… 職員の退職金の支出に備えるため、期末における協会都合要支給額から特定退職金共済積立額を控除した金額を計上しております。

(4) 消費税などの会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

(5) 税効果会計の適用について

税効果会計は適用しておりません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	146,588,749	-	100,000,000	46,588,749
投資有価証券	414,865,000	99,180,000	2,208,000	511,837,000
小 計	561,453,749	99,180,000	102,208,000	558,425,749
特定資産				
預金	40,000,000	-	-	40,000,000
小 計	40,000,000	-	-	40,000,000
合 計	601,453,749	99,180,000	102,208,000	598,425,749

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	46,588,749	46,588,749	-	-
投資有価証券	511,837,000	511,837,000	-	-
小 計	558,425,749	558,425,749	-	-
特定資産				
預金	40,000,000	-	40,000,000	-
小 計	40,000,000	-	40,000,000	-
合 計	598,425,749	558,425,749	40,000,000	-

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,435,040	1,235,296	1,199,744
電話加入権	374,920	-	374,920
保証金	80,000	-	80,000
合 計	2,889,960	1,235,296	1,654,664

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	680,000	-	680,000
合計	680,000	-	680,000

8. 保証債務等の偶発債務

該当事項はありません。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	※
(補助金等)						
地場産業総合振興事業	兵庫県	-	2,403,000	2,403,000	-	-
ひょうごのじばさん魅力発信キャンペーン事業	兵庫県	-	14,985,386	14,985,386	-	-
地場産業SDGs推進事業	兵庫県	-	3,000,000	3,000,000	-	-
神戸の魅力づくり事業	兵庫県	-	230,000	230,000	-	-
中内力コンベンション振興財団	同左	-	2,500,000	2,500,000	-	-
合計		-	23,118,386	23,118,386	-	-
(負担金)						
ファッション産業振興事業	神戸市	-	14,289,111	14,289,111	-	-
ファッション産業振興事業	神戸商工会議所	-	2,500,000	2,500,000	-	-
合計		-	16,789,111	16,789,111	-	-

※ 貸借対照表上の記載区分

10. 関連当事者との取引の内容

該当事項はありません。

11. 重要な後発事象

該当事項はありません。

12. その他

(1) リース取引関係（リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース物件）

① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

	什器備品	その他	合計
取得価額相当額	2,435,040	-	2,435,040
減価償却累計額相当額	1,235,296	-	1,235,296
期末残高相当額	1,199,744	-	1,199,744

② 未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	257,088	942,656	1,199,744

③ 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位：円)

支払リース料	249,856
減価償却費相当額	249,856

注) 支払利息相当額については、重要性が乏しいので減価償却費相当額に含めております。

(2) 退職給付関係

① 採用している退職給与制度の概要

当協会は退職給付一時金制度を採用しております。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	16,210,834
特定退職金共済積立額	6,137,955
(差引)未積立退職給付債務	10,072,879
退職給付引当金残高	10,072,879

② 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	246,507
退職給付費用合計	246,507

附属明細書

2023 年度

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照してください。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,826,372	246,507	-	-	10,072,879

財産目録

2024年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	196,762	
	普通預金	三井住友銀行神戸営業部	運転資金として	26,922,652	
		三井住友銀行神戸営業部		7,623,556	
		みなと銀行三宮支店		737,336	
	未収金	兵庫県神戸県民センター他	補助金他	680,000	
	前払金	翌事業年度事業にかかる前払金	事務所賃借料	355,740	
流動資産合計				36,516,046	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三井住友銀行神戸営業部	運用益を公益目的事業の財源に供している	10,000,000
		投資有価証券	東京電力第560回社債他	運用益を公益目的事業の財源に供している	511,837,000
		普通預金	三井住友銀行神戸営業部	運用益を管理運営の財源に供している	36,588,749
	特定資産	定期預金	みなと銀行三宮支店	運用益を管理運営の財源に供している	40,000,000
	その他固定資産	什器備品	神戸市中央区港島中町・什器一式	管理運営の用に供している	1,199,744
		電話加入権	電話加入権(8本)	管理運営の用に供している	374,920
		保証金	タイムズ24(株)	管理運営の用に供しているレンタカー支払保証金	80,000
固定資産合計				600,080,413	
資産合計				636,596,459	
(流動負債)	未払金	三井住友銀行他に対する未払額	振込手数料、保守料、分担金等支払	3,585,458	
	預り金	所得税、住民税、社会保険料他	所得税、住民税、健康保険等預り金	159,421	
	仮受金	神戸タータン協議会常設店舗の売上仮受金	神戸タータン協議会支援事業	1,390,461	
流動負債合計				5,135,340	
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	10,072,879	
	長期未払金	什器備品に対するもの	リース債務	942,656	
固定負債合計				11,015,535	
負債合計				16,150,875	
正味財産				620,445,584	

監査報告書

2024年6月5日

公益財団法人神戸ファッション協会
会長 小田 俱 義 様

監事 宮 地 良 彰

監事 平 井 克 幸

私たち監事は、公益財団法人神戸ファッション協会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）（並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

私たち監事は、理事および使用人などと意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事などからその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類などを閲覧し、同協会の事務所において業務および財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告および附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録などについて監査しました。

2. 監査の結果

（1）事業報告などの監査結果

- ① 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムの整備に関する理事会決議およびその体制下の理事の職務の執行は相当であると認めます。

（2）計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録などの監査結果

計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録などは、当協会の財産および損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

独立監査人の監査報告書

2024年5月31日

公益財団法人神戸ファッション協会
会長 小田 俱 義 殿

田村公認会計士事務所
兵庫県神戸市
公認会計士 田村 一 美

田村公認会計士事務所
兵庫県姫路市
公認会計士 田村 俊 雄

<財務諸表等監査>

監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人神戸ファッション協会の2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重

要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人神戸ファッション協会の2024年3月31日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上